

1 東京都介護認定審査会運営適正化委員会での成果物について

適正化委員会では、これまで毎年1冊、要介護認定の適正化に向けた研修教材を作成してきた。過去5か年の成果物は以下のとおり。

年度	名称	内容
平成26年度	認定調査員ハンドブック2014	認定調査の留意点、選択の考え方、特記事項のポイントについて掲載し、調査員への指導や調査員自身の研鑽のための冊子
平成27年度	審査判定事例集2015	審査判定の流れを事例に沿って解説したもので、審査会委員、調査員、事務局職員向けの研修で使用するための冊子
平成28年度	審査会事務局ハンドブック2016	事務局の役割や適正化への取組について解説したもので、事務局職員向けの研修等で使用してもらうための冊子
平成29年度	要介護認定適正化のための取組事例集2017	各区市町村で実施する適正化に向けた取組事例集
平成30年度	認定調査員ハンドブック 別冊問 いかけ編	認定調査に当たっての適切な質問方法や注意すべき事項について掲載し、調査員への指導や調査員自身の研鑽のための冊子

2 平成30年度の議論について

平成30年度は認定調査員ハンドブック2014の改訂版を作成するという事で議論を始め、区市町村に対して認定調査に関する課題と分析に関するアンケートを実施し、その結果を踏まえて改定内容を検討した。その結果、2か年計画で改訂を進めることとし、平成30年度は「基本調査項目の問いかけ例」と「聞き方順」を作成することにした。当初は20ページ程度のもので作成し、平成31年度に1冊のものにまとめ冊子化する予定であったが、作業部会委員よりすべての項目についてしっかりと作り込みたいとの意見が出たことで、最終的に分量が100ページに及んだ。このため、作成物を「認定調査ハンドブック 別冊問いかけ編」として1冊の冊子にまとめ、冊子として配布することとなった。

令和元年度については、以下の内容を中心に作成をしていくことが決定している。これを踏まえ、幹事会で改めて内容について議論し「(仮称)認定調査員ハンドブック2019」を作成する。

項目	内容
認定調査の実施上の留意点	事前準備や調査当日注意することなどを更に盛り込み、現在ある内容を拡充
特記事項記入上のポイント	選択を誤りやすい項目、迷いやすい項目を中心に、記載のポイントと記入例を掲載。記入例については、適切な例、不適切な例を記載し、不適切な例のどこに問題があるかを解説
認知症高齢者の認定調査	認知症高齢者の日常生活自立度の考え方等について掲載